

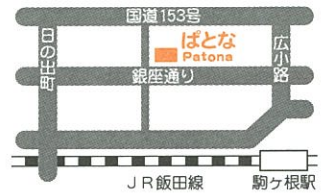
こまがね市民活動支援センター



# ばとなだより

Patona

第9号  
2011.11



駒ヶ根市中央16番7号  
Komagane-shi, chuo, 16-7  
TEL: 82-1150 FAX: 82-1151  
Mail: kmcenter@cek.ne.jp  
URL: http://www.patona-k.com

登録団体などでつくる実行委員会・小原晃一委員長が主催。赤穂南小学校金管バンドが息の合った演奏を披露し、オープニング。



息の合った南小の金管バンド



SDTが「セロ弾きのゴーシュ」を熱演

体験や飲み物、野菜、食べ物の販売など各団体の工夫を凝らしたテントブースが開店。まちなか発見隊は手作りマップを手に、まちなかコースに出発、子どもたちはスタンプラリーに熱中しました。

こまがね縁舞連の「よさこいソーラン」、SDT南信州演劇文化創造劇場の朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」、北割獅子舞保存会、歌声喫茶などがステージを彩り、セ



まちなかウォーキングで3地蔵尊参り



「チョコバナナはおいしいね」

こまがね市民活動支援センター「ばとな」は開設2周年を迎え、10月9日同センターを中心に「ばとなまつり2011」がにぎやかに開かれました。

「みんなで交流、みんなでばとな」  
ばとなまつり盛大に

センター内では6団体が活動の成果や活動の様子を映像や実演で発表し、多くの人が熱心に聞き入りました。

また、あつい！こまがねが浄財を募って建立した銀座通りの3地蔵尊子育て地蔵尊・御乳石地蔵・鉢巻達磨地蔵尊も家族連れでにぎわいました。

心を育む しらかばおもちゃ



## 夢 倶楽部 しらかば

- ・グッドトイ———クリスマスそ良いおもちゃとの出会いを。
- ・正月お飾りもの———毎年のお客さんと1年の無事を確かめ合います。
- ・お節句人形———古布人形・つるし飾り他、若手作家オリジナル作品製作中。

駒ヶ根市 駅前 ☎0265-83-3753 FAX 0265-83-3836

合い言葉は“あのおつく言葉”

愛・甘える・遊ぶ・安心  
そして  
コミュニケーションツール  
としてのおもちゃ

## 区 14 の紹介

### 「町一区」

歴史ある古い家並と  
新しい家並が混在する区



高齢者と子ども会で七夕祭り

市の町並みの南に位置し、南は七面川、北は飯田屋小路の越前屋青果店まで、西は三州街道(国道153号線)東は伊南バイパス、ほぼ4角形でコンパクトにまとめられています。その中に江戸時代の上穂赤須伝馬町として開かれた三州街道沿いの町内と、平成の区画整理によって開かれた伊南バイパス沿線の町内が調和し、密度の高い区となっています。区には住居表示が「赤須町」「赤須東」「南田」の他に、一部「上穂

南」が区に入っています。これは昔、現国道を直線にしたため、国道西の一部世帯が区に入っています。

古くから開かれた町並みには多数の町名が残っています。「桜木町」「竜生町」「末広町」等。このほか「中央通り」「大手町」「高砂町」「花咲町」等の町名が使われていますが、今では他に幻の町名となっているものもあります。「駒ヶ根の歴史を知るためにも残したいものです」と松崎泰隆区長。

新しく開発された町並みにも「南田市場公園通り」「赤須あかね通り」等の町名がつけられ、新旧の町名で区が出来ています。

区は高齢化が進んでいます。新設の「みゆき公園」には子どもたちの歓声が響いています。この公園は遊具もあり、親子交流の「公園デビュー」の場になっています。区民が毎週トイレ掃除をしています。利用者に喜ばれています。

「子どもが宝」が区の方針で、三十年前から幼児から小学生を対象にした「子ども会」があり、毎年、高齢者と子ども会で七夕祭り等の活動を行い、子どもの成長を区民で見守り、大切にしています。

- 区役員
- 区長・松崎泰隆さん
  - 副区長・片桐公男さん
  - 会計・小林正博さん
  - 分館長・原久雄さん
  - 主事・清水浩さん

## 区 15 の紹介

### 「上赤須区」

水害や土砂災害に備えた  
防災体制づくりが急務に

南北は中田切川と七面川の間で、東は天竜川まで。区内にはねずみ川、上穂沢川が流れ、その下流域になっています。このため、河岸段丘により、北側は高部平地、中央部は低部平地、南は上部平地というように、3つに大きく分かれています。区は7自治会、世帯数は260戸余ほどで、組合加入世帯数は230戸弱となっています。区内には市の施設や保育園などは何もありませんが、1軒だけ商店があります。

「地形のために、南北を繋ぐ道路は下ったり、上ったりと複雑。さ



土のうづくり訓練

らに東西を走る道路も狭く、大型バスが入れない地域もあり、市内で一番道路整備が遅れています」と北澤正孝区長。

「市のハザードマップから、水害や土砂災害の発生が考えられる箇所が多いことが指摘されています。大災害となれば北部・中央部・南部の3地区の分断が予想されます。そのため防災体制づくりが今後の区の緊急課題となっています。災害時に最も大事なことは、みんなで助けあえる地域であること。区民運動会や球技大会など区行事を、区民同士の繋がりを強める好機と捉えています」

さらに、老人力やボランティアも結集した継続的な自主防災組織の編成、区内の危険個所の周知、災害弱者の把握などに取り組む計画です。

区に隣接して大御食神社があり、再来年が秋の例祭年番区となっています。市内では一番小さな区ですが、例大祭の年番は区単独で務めており、区の心意気を示しています。

上赤須という地名は十七世紀後半から称すようになったと推察されており、区民は歴史ある地区に誇りを持っています。

- 区役員
- 区長・北澤正孝さん
  - 副区長・新井亮男さん
  - 会計・北澤洋一さん
  - 分館長・気賀澤洋一さん

こまがね情報発信地  
まちなかスクエア

5

夏から行なったまちなかスクエアの活動を紹介します。

◆店舗運営

夏からソースかつ井関連の商品が二種加わり、好評を得ています。特にソースかつ井風味の柿の種の販売は駒ヶ根市内でいち早く開始し、県外からのご注文もありました。



ソースかつ井風味柿の種

また、店内で取り扱っている商品を独自に選ぶ「駒ヶ根セット」を企画、ギフトボックスでの販売をはじめたところ、駒ヶ根土産として好評をいただいております。

◆市民のお茶の間

市民の皆さんのお立寄り所としても、少しずつですが常連さんも出てきています。今後も気軽に使ってい

ただける場であると共に、観光客の皆さんには大型の荷物預りを行ないながら観光案内ができるよう、努力してまいります。



「駒ヶ根セット」

◆企画・制作

まちなかスクエアは店舗営業の他にイベントの企画、市民活動・商店街のお手伝いなどに幅広く関わらせていただいております。今年度は広小路商店街振興組合営業委員会の方と共に機関紙を作らせていただき、商店の広報活動を行ないました。

市民団体からご依頼の印刷物編集や制作、各種資料作りの代行なども受けており、夏からは、こまがね地蔵尊すくすく緑日への支援も行ない、緑日がスムーズに運営できるよう協力させていたいております。

また、昨年決定したばとなキャラクタの商品開発にも着手しました。

駒ヶ根工業高校電気科の関先生のご指導の下、6人の生徒さんの協力を得てスタッフTシャツ、エコバッグ、ジグソーパズルを製作しました。ふれあい広場にて販売を始めたところ、ジグソーパズルは好評で売り切れとなりました。



エコバッグとパズル

日々の駒ヶ根の情報を発信することを目的に、以前からブログとツイッターにて情報発信を行ってまいりましたが、この夏新たにフェイスブックページを作成。すべてを連携させながら、より多くの皆さんに情報発信できるように心掛けています。更に、店先に設置した掲示板でも、道行く方に駒ヶ根の情報を随時紹介しております。



店先に設置した掲示板

◆イベント協力

今夏は商店街の一員として夏まつりに参加し、共に汗を流しました。

祇園祭では子供神輿の制作に携わり、こま夏では、若年層に興味を持ってもらえる品物を販売し、子供向けにゲームも行ないました。駒盆では商店の皆さんと共にお祭りを盛り上げました。秋になってからは、ふれあい広場の出店の他、ばとなまつりの開催に協力。国際広場では自ら屋台を出店し、駒ヶ根と世界の人達との交流に協力しました。



ワールド屋台へ出店

これからも、一つ一つ出会いを大事にし、多くの方々と絆を繋いでいけるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

店舗営業：市内中央広小路17-23  
電話：82-11171

講演会・学習会のご案内

支援センター登録団体の主催による講演会・ワークショップが開催されます。

●講演会

日時 11月26日(土)

午後6時から

場所 駅前アルパ三階

講師 中村尚司 先生

前龍宮大学教授

演題 「東日本大震災に学ぶ国際交流」

参加 無料

●講演会

日時 12月16日(金)

午後6時半から

場所 駅前アルパ三階

講師 辻 琢也 先生

一橋大学大学院教授

演題 「国土長期ビジョンと協働のまちづくり」

参加 無料

●学習研究会(予定)

第一回 1月15日(日)

第二回 2月25日(日)

内容 アンケート調査や市内の現況を講師と散策しながら協働のまちづくりを学習します。

講師 辻 琢也先生

主催：駒ヶ根市草の根市民活動推進支援の会(登録団体)

問合せ先 団体事務局

83-11510

(アンシャント)

こまがね豆知識 ①

10月9日、ぱとなまつりで行われた「駒ヶ根マスタ―選手権」の中から一部問題を出します。さて、あなたはわかりますか？

- ① こま夏第一話から登場した、駒ヶ根のヒーローは誰でしょう。また、そのライバルは誰でしょう。
  - ② 昭和29年に駒ヶ根市となるとき合併したのは、赤穂町、中沢村、と後二つは何町と何村でしょう。
  - ③ 駒ヶ根市のキャッチフレーズになっている二つのアルプスの名前は何と何でしょう。
  - ④ 旧竹村家住宅は、国の何文化財に指定されているでしょう。
  - ⑤ 駒ヶ根市庁舎の標高は東京スカイツリーより高い？低い？
- (制作：駒ヶ根マスタ―研究会)
- 正解は次号に掲載します。どうぞお楽しみに。

連載 「ぱとな」への想い ⑦  
こまがね市民活動支援協会  
理事 加治木 今

建物には？機能は？  
備品は？

協働の活動を考える「きらめき15」のメンバーは、自営業、サラリーマン、NPO関係者等、仕事はそれぞれですが、何かの形で、市民活動や地域の自治に関わってききました。

アンケートを取り、いよいよ、市民団体、自治会に会員がヒアリングに伺いました。会員の想いは、市民が集まりやすいセンターを作りたいが、どのような、建物で機能は何か必要をお聞きしたいというものでした。結果は、事務機能として、印刷、また活動を広めるために情報の提供、会議室の設置でした。

この時、公民館、地域の集会所との違いをどこに出すのが課題となりました。長野県を見回しても、先進事例がない中、どこかのセンターを視察したいという意見から、可児市他、多くの先進地へ視察に行きました。

(次号へつづく)

「ぱとな」からのお知らせ

●「子育てカレンダー・食育かるた販売中」

「ぱとな」では「こまがね食育よみか」と「こまがね子育て10か条カレンダー」を1部500円、「食育かるた」を1部300円で販売しています。

●「ロゴマークが決定」

「こまちゃんエコポイント事業」のロゴマークを募集したところ、84点の作品応募がありました。市民投票と選考委員による審査の結果、鶴田さゆりさんの作品が最優秀賞となり、採用作品となりました。



こまちゃんエコポイント  
ロゴマーク採用作品

●「LEDを買ってエコポイントを集めよう」

LED電球等を購入すると、購入金額5千円ごとに1000ポイントの「こまちゃんエコポイント」がもらえます。対象は7月20日以降に市内小売店で購入した省エネ照明器具です。詳しくは、市役所環境対策課又は、「ぱとな」まで。

編集後記

秋も深まった10月、所用で京都に出かけました。遠方と感じていた観光要素も新幹線の利用で驚くほど移動が早いことにびっくりしました。何処に行ってもお祭りのように集まった観光客。人通りの少なくなった郷土の市街地にはうらやましいような人の往来でした。「東風吹かば、にほいをこせよ梅の花、主なしとて春なわすれそ」

北野天満宮の前を過ぎたとき、菅原道真のそんな歌を思い出しました。道真公は才能があり、人柄も良くて天皇の信頼も厚かった偉人大宰府に左遷されたとの一説があります。いずれの世であらうとリーダーとなる才能のある人は思いがけない相手をつくることが多いかもしれません。自分の想もたくさんの人と関わりを持つことで、その想いは継承してゆけるのではないのでしょうか。そんなひたむきな心の想いがこの歌には表われていて感じます。日、一日と寒くなります。どうか御身体をご自愛ください。

【事務局長 宮澤】

発行日 平成23年11月  
発行者  
こまがね市民活動支援センター



JX日鉱日石エネルギー株式会社 販売店

駒ヶ根自動車産業株式会社

本社 〒399-4111 駒ヶ根市北町31-15 ☎0265-83-3434 FAX 0265-83-5054

- カーケアステーション北町 駒ヶ根市北町31-15 ☎0265-83-3434
- カーケアステーション南町 駒ヶ根市赤穂小町屋10770 ☎0265-83-2762
- カーケアステーション中央アルプス花の道 駒ヶ根市赤穂8172-3 ☎0265-83-5500

